

# 会派調査（研修）報告書

平成31年2月 1日

胎内市議会議長  
薄田 智 様

(報告者) 会派名 公 明 党

代表者名 渡 辺 栄 六

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 平成31年 1月23日 至 平成31年 1月25日 2泊3日(3日間)	調査・研修 場 所	千葉県富津市 茨城県大洗町
調査・研修 事 項	富津市 富津市事業仕分けについて 大洗町 「ガルパン」から学ぶまちづくり		
調査・研修 出 席 者	渡辺栄六  (政和会) 渡辺 俊 森田幸衛 天木義人 小野徳重 森本将司 坂上 隆夫		
相 手 方 (対応者)	富津市 平野明彦(議会議長) 秋嶋隼人(総務部次長) 三田貴一(総務部係長) 大塚幸男(議会事務局長)  大洗町 今村和章(議会議長) 坂本 博(大洗町商工会事務局長) 常盤佳心彦(大洗まいわい市場代表取締役)		

## 調査の結果または概要

【富津市】 富津市では、平成11年度から4次にわたって行財政改革大綱・推進実施計画を策定し、行財政改革に取り組んできた。しかしながら、平成25年度における平成26年度当初予算編成において財政調整基金残高がほぼ底をつき、平成27年度以降の赤字決算が現実のものとなった。

このような状況の中、市民の意見を施策に反映させる方策として、平成27年に市民参加型の事業仕分けを実施し、平成29年には公共施設に特化した事業仕分けを行い、その結果は、今後の公共施設の適正な再配置を目指すための「公共施設再配置推進計画」策定に反映させることとなった。

【大洗町】 年間560万人もの観光客数を誇ってきた大洗町であったが、東日本大震災による津波などの被害や、福島原発事故の風評被害などもあり、県内トップから陥落したが、わずか1年で集客数を奪還できたのは「ガルパン」がおおいに貢献してくれた。

ガルパンとは、アニメ「ガールズ&パンツァー」は2012年に放映されたアニメ番組である。ガルパンとコラボしたご当地商品の開発などを、町の一台イベントであるアンコウ祭りに合わせて一斉にリリースすることでインパクトと話題性を創出した。結果は前年比2倍の6万人という過去最高の集客数を記録することができた。

## 調査の所見・感想

【富津市】 事業仕分けの内容は、市民を含む第三者が参加する公開の場で議論し、過去の経緯や制度に捉われることなく、必要性・妥当性・実施主体の在り方について、第三者の視点で議論し、市民が判定するものであり、市民に対して透明性を向上させることに大いに共感させられた。

仕分けの結果、効果額は約4千万であるが事業仕分け当初約1億5千万円だった財政調整基金が約20億円まで残すことができた軌跡には学ぶ点が多い。

【大洗町】 アニメ放映から2年以上たった今でも、様々な取り組みが続き、大洗あんこう祭りでは2年連続で10万人の集客しており、大洗町ならではのおもてなしが受け入れられている。「ガルパンが大洗町に与えてくれたもの」。それは経済効果でもなければ一時の賑わいでもなく、訪れた方々の喜びや人と人との交流の大切さ。そして地元の人間の笑顔とやる気なのだと思う。

大洗町のユニークなまちづくりには、当市の観光集客にもヒントがあるように考えさせられた。